
永久に

黒野晋

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

永久に

【Zコード】

N7250D

【作者名】

黒野晋

【あらすじ】

一刻一刻とそのときが差し迫る中、夫婦は穏やかにそれを待つ。 あ
る夫婦の切なくも真摯な愛の形。

田を開じ、静かに手を合わせる。

「ねえ、あなた」

いつの間にか妻が」」うちを向いていた。

「ん？」

「わたし、どのくらい寝てた？」

「なあに、ほんの少しだけだ」

「そう」

少しだけ微笑むと、ぼんやりと呟いた。

「夢を見てたの」

「夢？」

「ええ、イチヨウの並木道を一人で散歩してたわ」

妻は思い出したようにくつくつと笑う。

「あなた、夢の中でも心配してばかりなんだもの。いいかげん直し

たほうがいいんじゃない？」

「しようがないだろ、心配性なんだから」

性格は一朝一夕で直せるものではない。それに口調からするとそれがほど直してほしいとは思つてないだろ。俺は勝手にそつと息を吐いてから続けた。

「ふふっ、でも私も惜しいことをするわね。あと少しですもの」

俺は何も言わない。妻は呆れたようにそつと息を吐いてから続けた。

「たまには会いに来てね？」

「いつでも行くぞ」

「たまにでいいのよ。でも、来たときにはお花をプレゼントしてくれると嬉しいわ」

「ああ、ついでに掃除もしてやる」

「ありがと」

妻は本当に嬉しそうに田尻を下げた。

俺はどじょひもなく愛おしくなり妻の痩せた手を両手で優しく包み込む。

「愛してる」

「あら、一度田のプロポーズ？でもあなた、いい人見つけないとダメよ」

妻はおどけて笑つて見せるが、瞳は濡れていた。

俺は茶化さずに心の内を吐露する。

「ずっと、愛してるぞ」

やや間があつてから、妻は答えた。

「・・・わたしもよ」

数秒か数分か、手を握つて見つめあつたままでいた。

「わたし、なんだかまだ寝たりないみたい」

「ずっとこうしているから」

「ぜつたいよ？」

「ああ」

満足そうに笑う妻の臉がだんだんと下がつていいく。

妻はやがて、安心して眠りについた。

「・・・おやすみ」

静寂が身を包んで放さなかつた。

油蝉の鳴く声がする。

田をゆっくりと開いた。

「また来るぞ」

俺は手桶と柄杓を持ち、その場を去つた。

(後書き)

唐突に思い浮かんだお話です。

この物語の中では主人公が一年のうちのある期間に何かをしています。

それを読み取つてほしくて書き表しましたw

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7250d/>

永久に

2010年10月10日05時48分発行